

令和 5 年度 高松市病院事業会計決算見込みの概要

病院局

1. 令和5年度決算の概要

(1) 前年度比較

決 算	令和 5 年度 A	令和 4 年度 B	前年度比較 A - B	
			増 減	増減比率
決 算 規 模 (税込)	116.0 億円	112.5 億円	3.5 億円	3.1 %
みんなの病院	109.2 億円	106.0 億円	3.2 億円	3.0 %
塩 江 分 院	6.8 億円	6.5 億円	0.3 億円	4.7 %
経 常 収 支 (税抜)	▲ 0.4 億円	5.7 億円	▲ 6.1億円	▲ 106.6%
みんなの病院	0.1 億円	5.9 億円	▲ 5.8億円	▲ 98.6%
塩 江 分 院	▲ 0.5 億円	▲ 0.2 億円	▲ 0.2億円	▲ 112.4%

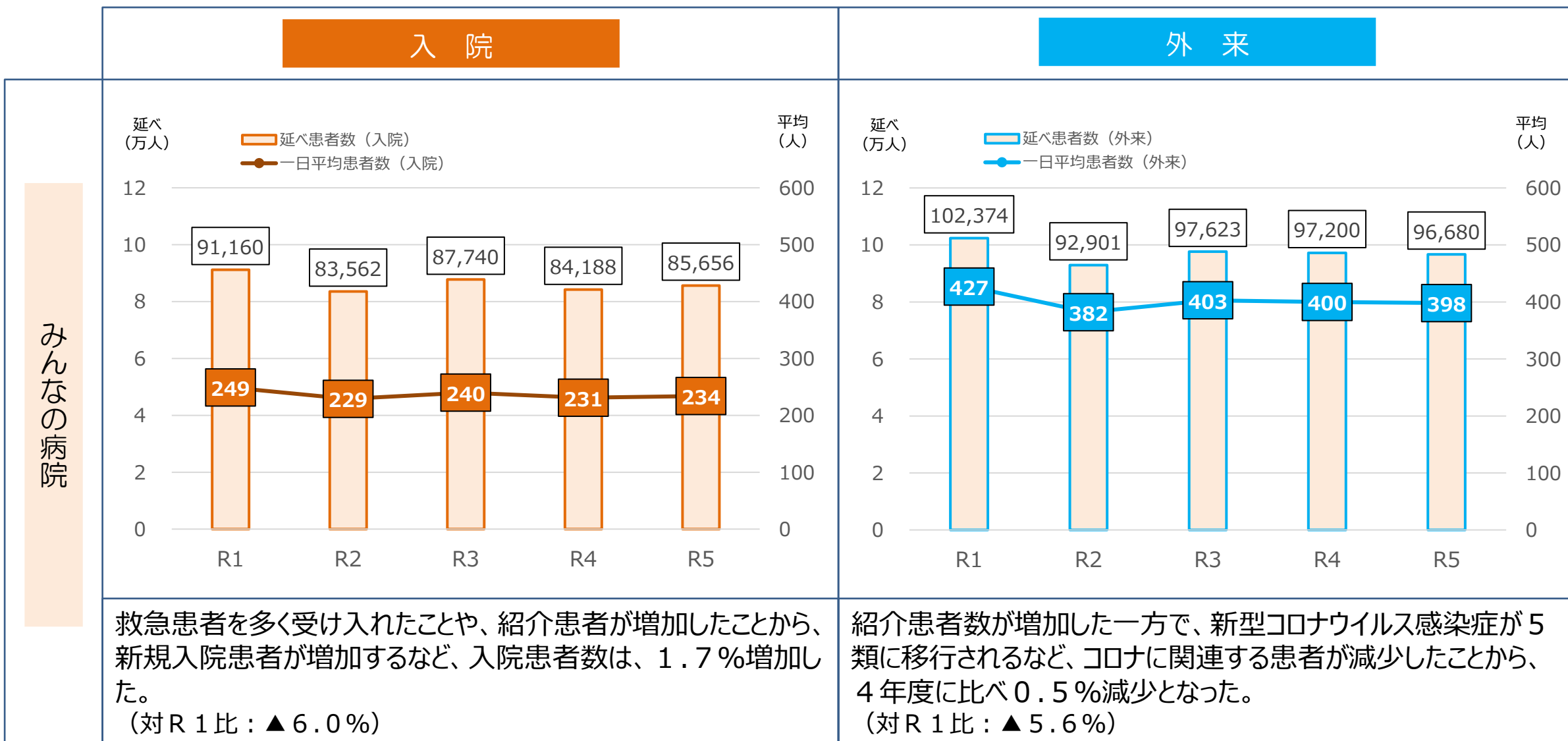
※以下、四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率等が一致しない場合がある。

(2) 決算のポイント

- **決算規模**（収益的支出及び資本的支出の合計）は、物価高騰などに伴う材料費の増加や企業債償還金の増加などから、**3.5 億円**の増
- みんなの病院の**経常収支**は、コロナウイルス感染症に係る交付金が減少したことから、4 年度に比べ**5.8 億円減少**したものの、入院収益・外来収益の増加などにより、**0.1 億円**の黒字
- みんなの病院の**入院・外来収益**は、外来患者数は減少した一方、入院患者数は増加し、入院・外来とも診療単価が上昇したことから、**1.7 億円増**の**70.5 億円**（+ 2.4 %）
- **一般会計繰入金 22.9 億円**（+ 10.2 %）は、建設改良に要する経費の増などに伴い**2.1 億円**の増加
- **現金残高**は、4 年度比**0.1 億円増**の**41.9 億円**

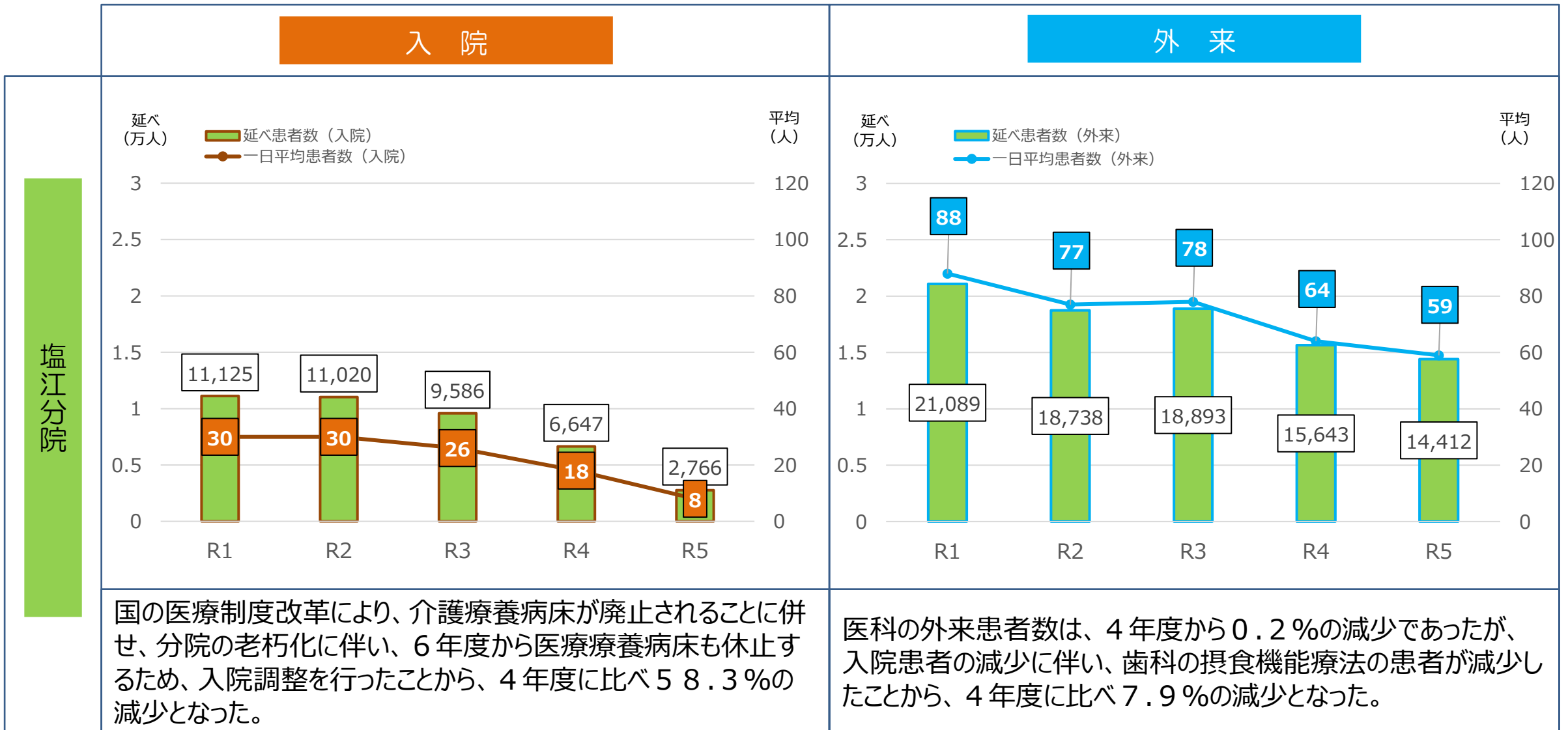
2. 業務の状況①（患者数）

（1）みんなの病院



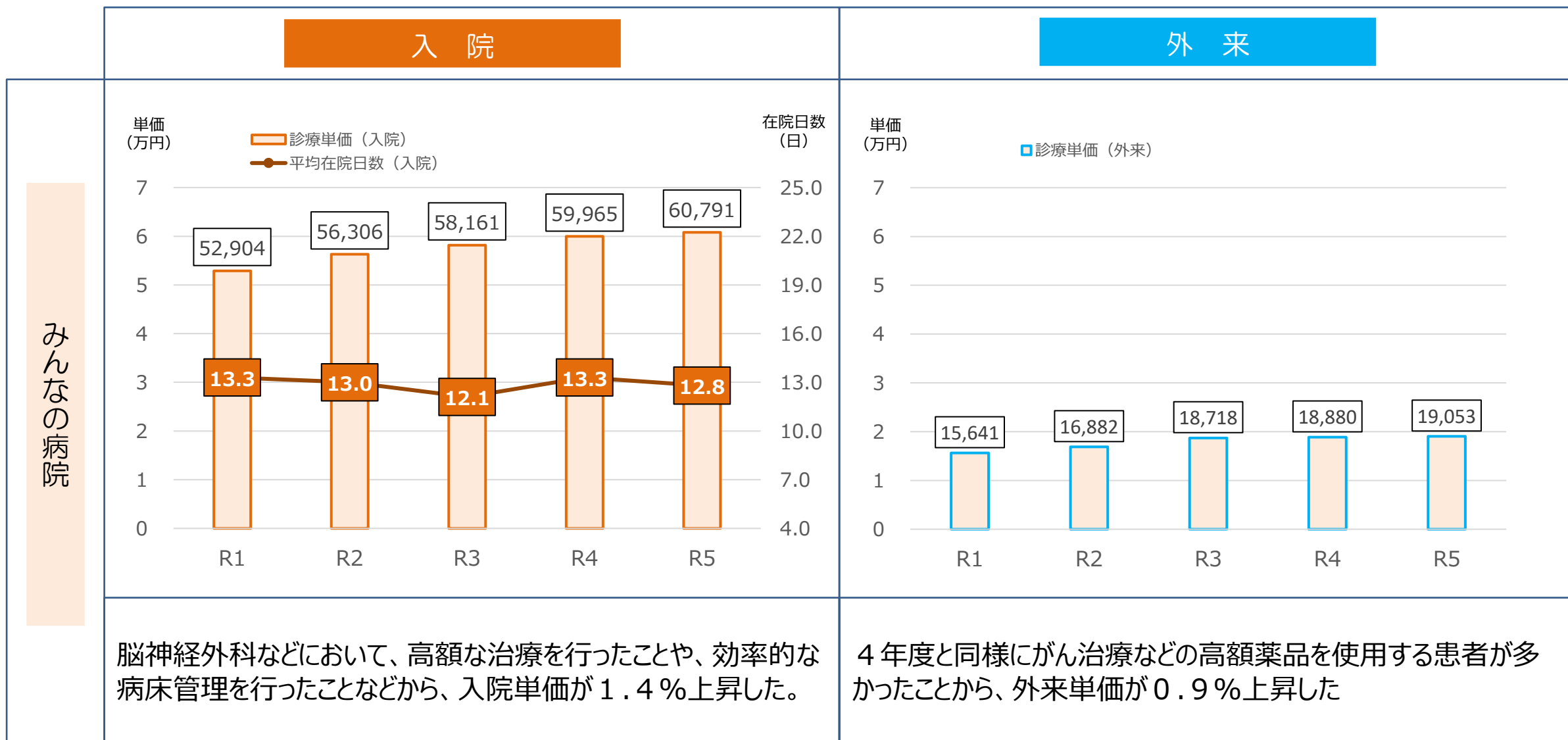
2. 業務の状況①（患者数）

（2）塩江分院



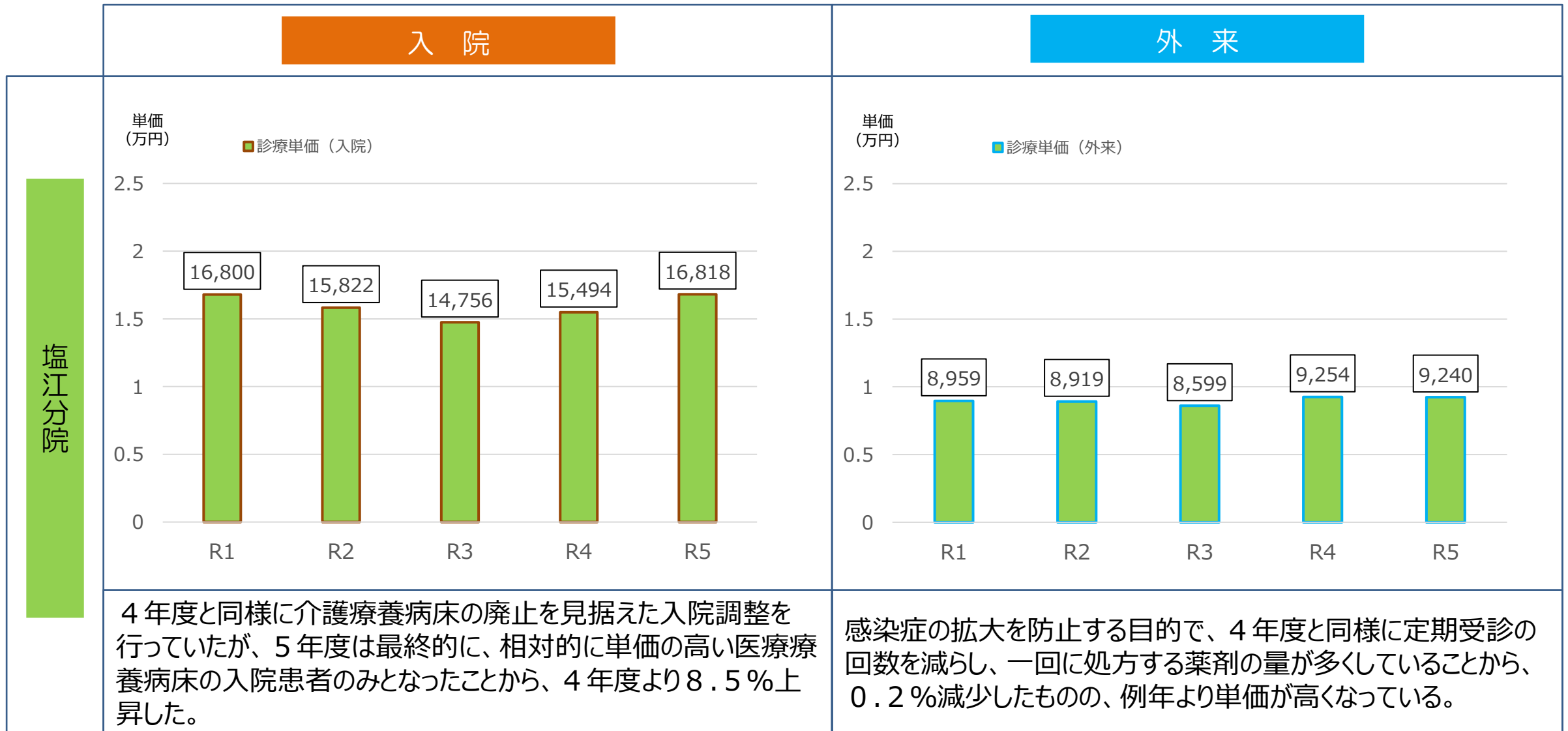
2. 業務の状況②（診療単価）

（1）みんなの病院



2. 業務の状況②（診療単価）

（2）塩江分院



3. 収益的収入及び支出（税抜き）

（1）みんなの病院

単位：百万円

区 分		R 5	R 4	前年度増減比較		主な増減理由
				金額	率（%）	
収益（みんなの病院）		9,445	9,862	▲ 418	▲ 4.2%	
	医業収益	7,989	7,796	194	2.5%	
	うち入院収益	5,207	5,048	159	3.1%	患者数 84,188人 → 85,656人 診療単価 59,965円 → 60,791円
	うち外来収益	1,842	1,835	7	0.4%	患者数 97,200人 → 96,680人 診療単価 18,880円 → 19,053円
	うち一般会計繰入金	621	586	35	6.0%	救急医療の確保に要する経費 + 35,344千円
	医業外収益	1,431	2,037	▲ 606	▲ 29.7%	新型コロナ感染症緊急包括支援交付金（病床確保料） ▲ 729,449千円
	うち一般会計繰入金	692	756	▲ 64	▲ 8.5%	退職給与の負担に要する経費 ▲ 41,571千円、新型コロナ臨交金 ▲ 56,156千円、医師の派遣等に要する経費 + 38,349千円
	特別利益	24	30	▲ 5	▲ 18.2%	長期前受金戻入（過年度分） ▲ 2,737千円
費用（みんなの病院）		9,532	9,307	225	2.4%	
	医業費用	9,041	8,882	159	1.8%	
	うち給与費	4,561	4,663	▲ 102	▲ 2.2%	退職給付費 ▲158,097千円、賞与引当金繰入額 + 24,304千円
	うち材料費	1,789	1,659	131	7.9%	薬品費 + 72,686千円、診療材料費 + 57,378千円
	うち経費	1,414	1,358	55	4.1%	報償費 + 40,894千円、委託料 + 42,691千円、光熱費 ▲ 27,411千円
	医業外費用	371	360	11	3.1%	雑損失 + 11,049千円
	特別損失	120	65	55	83.7%	退職金引当金繰入額 + 64,999千円
当年度純損益		▲ 87	555	▲ 643	▲ 115.7%	
経常損益（特利・特損を除く）		8	591	▲ 583	▲ 98.6%	

※令和5年度から、長期前払消費税償却は医業費用に含む。なお、4年度についても比較のため同様に医業費用に含む。

3. 収益的収入及び支出（税抜き）

（2）塩江分院

単位：百万円

区 分	R 5	R 4	前年度増減比較		主な増減理由
			金額	率（%）	
収益（塩江分院）	613	594	19	3.2%	
医業収益	186	256	▲ 70	▲ 27.4%	
うち入院収益	47	103	▲ 56	▲ 54.8%	患者数 6,647人 → 2,766人 診療単価 15,494円 → 16,818円
うち外来収益	133	145	▲ 12	▲ 8.0%	患者数 15,643人 → 14,412人 診療単価 9,254円 → 9,240円
医業外収益	345	319	27	8.3%	
うち一般会計繰入金	338	312	27	8.5%	退職給与の負担に要する経費 + 37,924千円 医師の派遣等に要する費用 ▲ 17,000千円
附帯事業収益	16	17	▲ 1	▲ 7.2%	訪問看護利用者の減 1,935人 → 1,800人（▲ 135人）
特別利益	65	2	64	3992.0%	退職金引当金戻入益 + 64,999千円
費用（塩江分院）	594	614	▲ 20	▲ 3.3%	
医業費用	559	578	▲ 19	▲ 3.3%	
うち給与費	401	397	4	1.1%	退職給付費 + 25,233千円、給料 ▲ 3,491千円、手当等 ▲ 17,330千円、
うち材料費	53	72	▲ 19	▲ 25.9%	薬品費 ▲ 14,262千円、給食材料費 ▲ 2,522千円
うち経費	90	96	▲ 6	▲ 6.3%	報償費 ▲ 2,611千円、修繕費 ▲ 1,284千円、燃料費 ▲ 1,123千円
医業外費用	13	15	▲ 1	▲ 8.6%	雑損失 ▲ 1,217千円
附帯事業費用	21	21	▲ 1	▲ 3.0%	
特別損失	1	1	1	190.3%	過年度損失修正損 + 922千円
当年度純損益	18	▲ 20	39	190.7%	
経常損益（特利・特損を除く）	▲ 45	▲ 21	▲ 24	▲ 112.4%	

※令和5年度から、長期前払消費税償却は医業費用に含む。なお、4年度についても比較のため同様に医業費用に含む。

4. 資本的収入及び支出（税込み）

（1）みんなの病院

単位：百万円

区 分		R 5	R 4	前年度増減比較		主な増減理由
				金額	率（％）	
収入（みんなの病院）		896	941	▲ 45	▲ 4.8%	
	企業債	273	533	▲ 261	▲ 48.8%	医療備品購入費の減少（手術用顕微鏡及びナビゲーションシステム、生体情報モニタなど）
	負担金交付金	618	405	213	52.8%	企業債償還に対する一般会計負担金の増加 + 213,456千円
	補助金	5	4	2	45.7%	県補助金の増加 + 1,622千円
支出（みんなの病院）		1,364	1,269	96	7.6%	
	建設改良費	280	540	▲ 260	▲ 48.1%	
	資産購入費	280	530	▲ 250	▲ 47.1%	医療備品購入費の減少 ▲ 249,757千円（手術用顕微鏡及びナビゲーションシステム94,600千円、生体情報モニタ36,520千円など）
	病院施設費	0	10	▲ 10	皆減	
	企業債償還金	946	631	315	49.9%	H29年度借入分（みんなの病院整備）の償還開始に伴う増 + 300,376千円 R3年度借入分（生化学・免疫連結型自動分析装置など）の償還開始に伴う増 + 26,963千円
	他会計借入金償還金	138	98	41	41.8%	H30年度借入分の償還開始に伴う増 + 40,750千円
	その他	0	0	0	-	
収支差引（補填額）		▲ 468	▲ 327	▲ 141	▲ 43.2%	

4. 資本的収入及び支出（税込み）

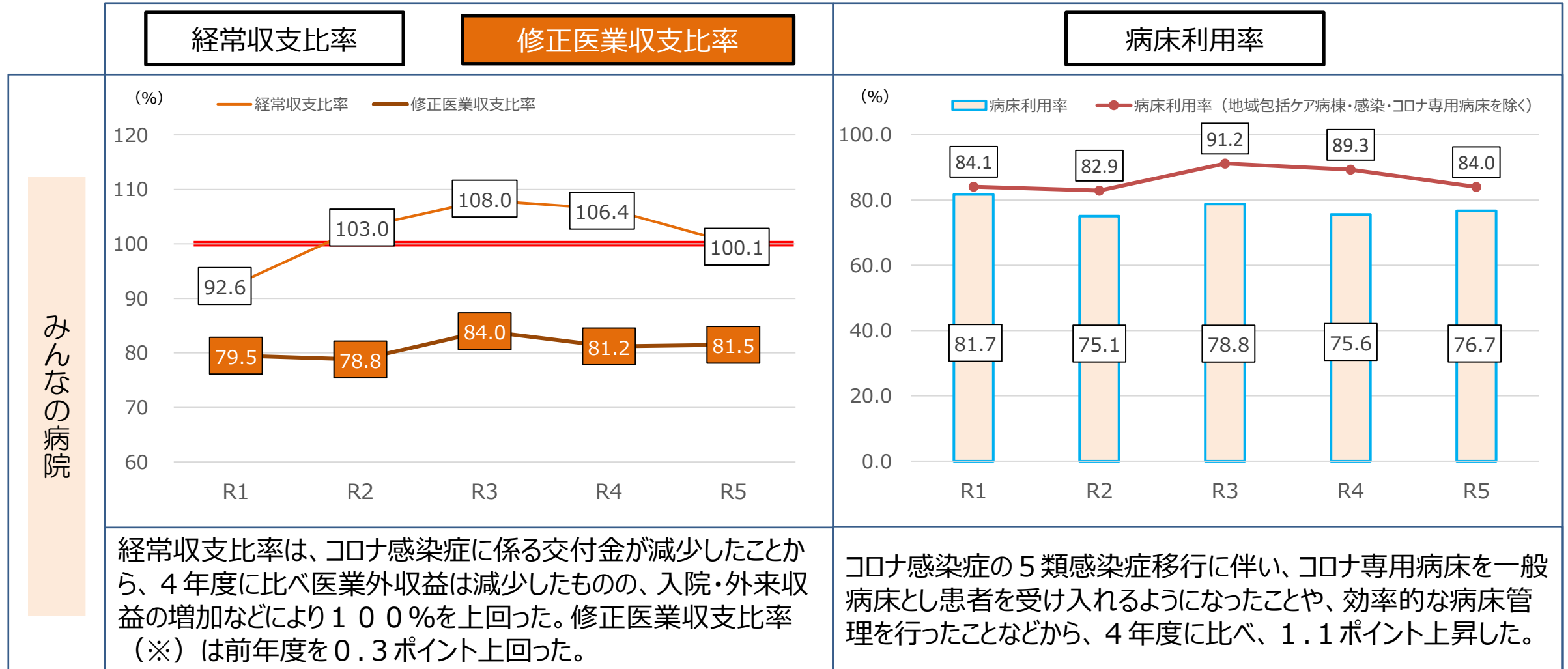
（2）塩江分院

単位：百万円

区 分		R 5	R 4	前年度増減比較		主な増減理由
				金額	率（％）	
収入（塩江分院）		82	30	53	117.8%	
企業債	企業債	64	15	49	331.5%	
	うち附属医療施設分	63	11	52	460.7%	附属医療施設整備費の増加に伴う増 + 51,600千円
	出資金	13	12	1	6.7%	
	うち附属医療施設分	13	12	1	6.7%	附属医療施設整備の実施設計等に伴う増 + 798千円
	負担金交付金	3	3	0	8.3%	
	補助金	2	0	2	皆増	県補助金の増（患者輸送用車） + 2,306千円
支出（塩江分院）		84	33	51	152.8%	
建設改良費	建設改良費	79	27	53	194.6%	
	資産購入費	4	4	0	2.9%	患者輸送用車 3,850千円
	附属医療施設	52	23	29	122.6%	道の駅エリア法面对策工事等負担金 51,739千円
	線越附属医療施設	24	0	24	皆増	道の駅エリア建築実施設計負担金 23,900千円
	企業債償還金	5	6	▲ 2	▲ 25.9%	
収支差引（補填額）		▲ 2	▲ 4	2	51.3%	

5. 経営指標の推移

(1) みんなの病院



※令和5年度から、長期前払消費税償却は医業費用に含む。なお、4年度についても比較のため同様に医業費用に含む。

■ 経常収支比率とは

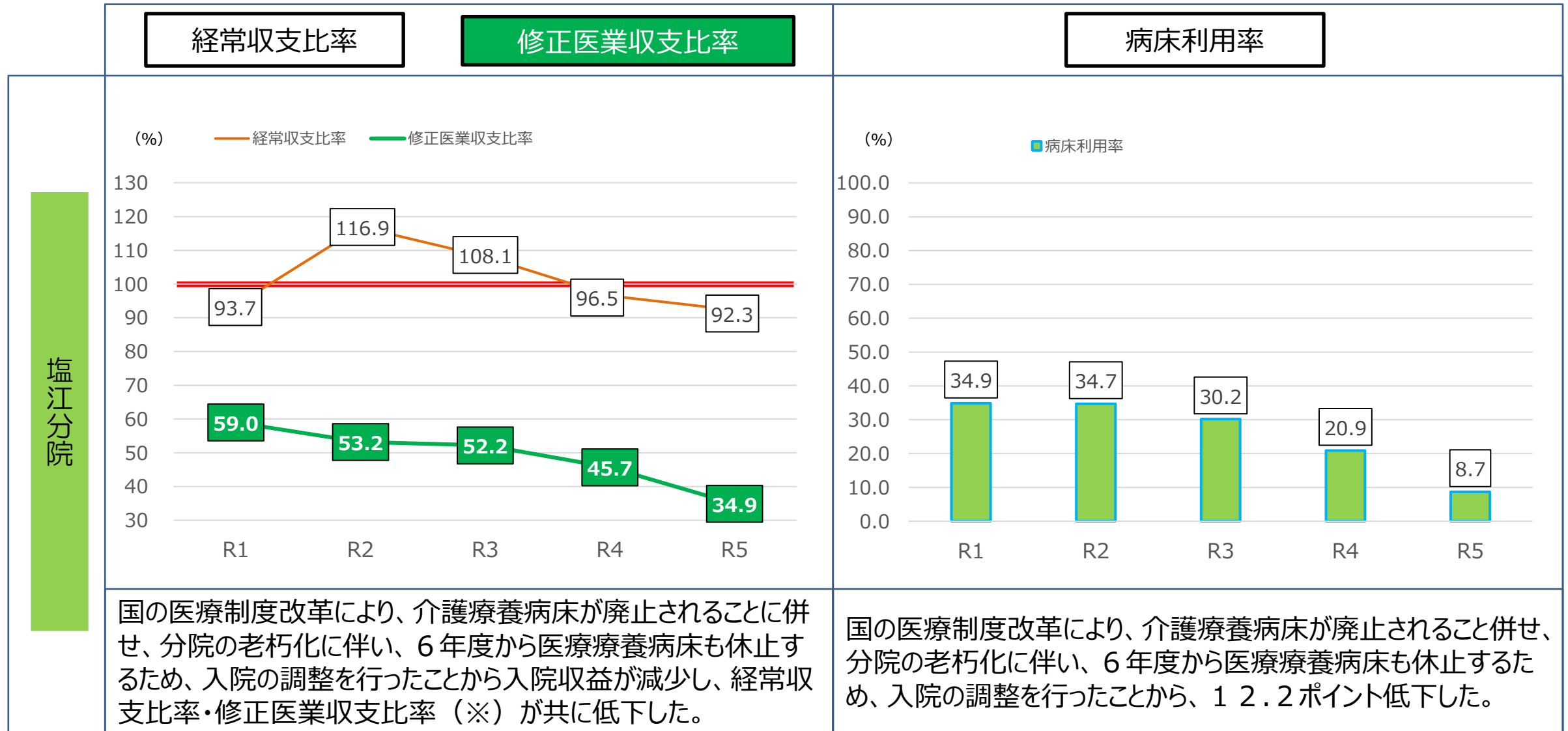
■ 修正医業収支比率とは

経営の健全性を示す指標。比率が高いほど健全であり、100%を超えると健全経営であることを意味します。

経営の収益性を示す指標。他会計繰入金などを除いて算定しており、比率が高いほど収益性が高く、100%を超えると独立採算であることを意味します。

5. 経営指標の推移

(2) 塩江分院

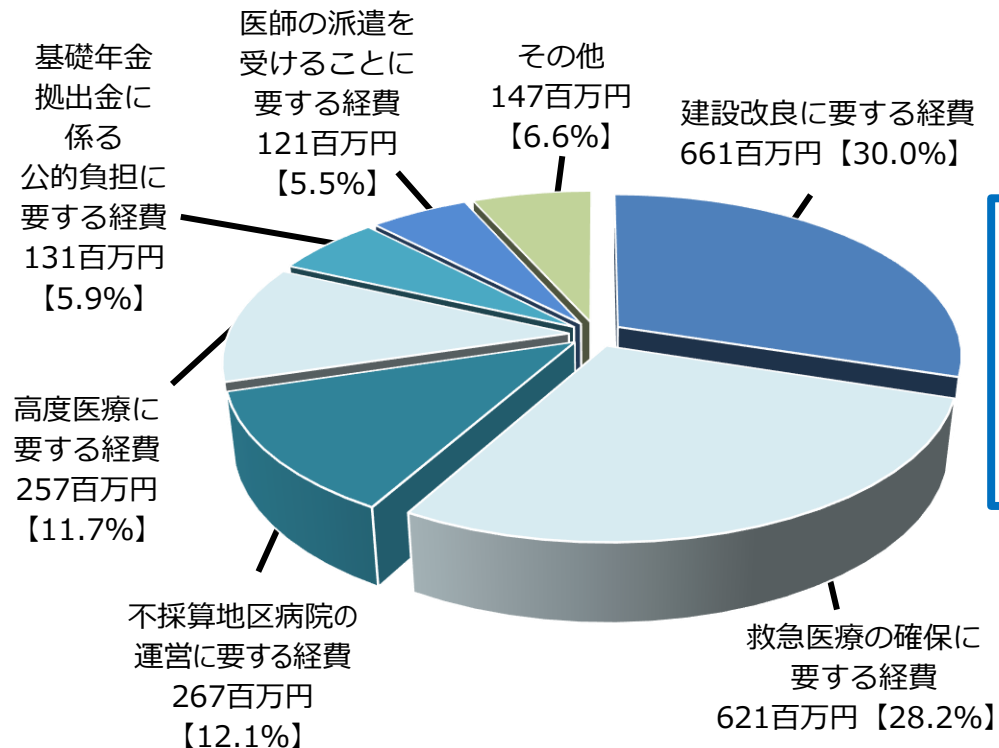


※令和5年度から、長期前払消費税償却は医業費用に含む。なお、4年度についても比較のため同様に医業費用に含む。

6. 一般会計から病院事業会計への繰入金

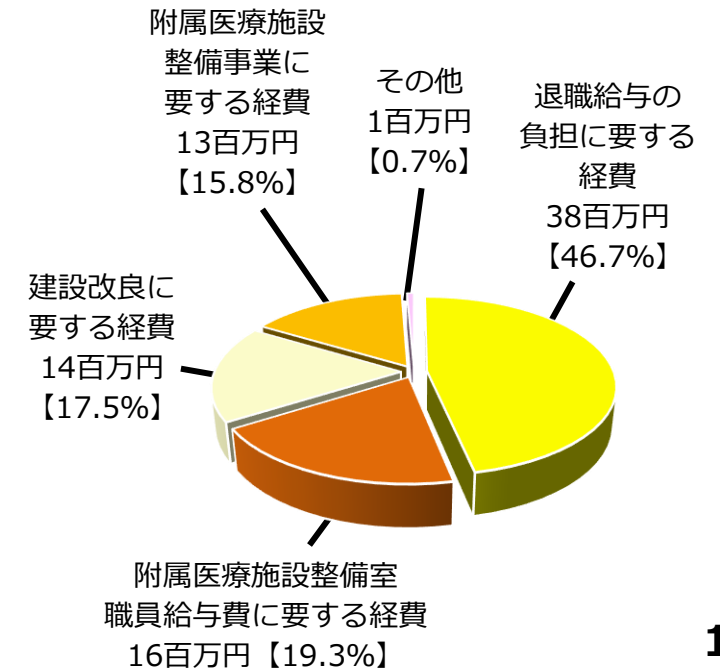
単位:百万円

決算	R 5 年度	R 4 年度	増減	R 6 予算	備 考
負担金	2,273	2,061	212	1,943	建設改良、退職給与などに要する経費
出資金	13	12	1	0	附属医療施設整備事業などに要する経費
合 計	2,286	2,073	212	1,943	
繰出基準内	2,205	1,932	272	1,875	総務省通知
繰出基準外	81	141	▲ 60	67	地方交付税等措置対象外



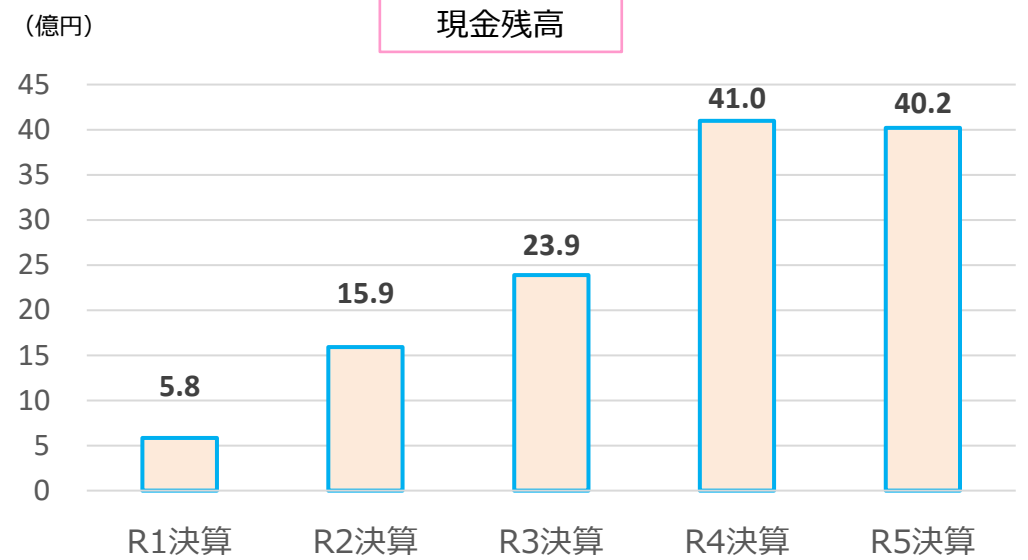
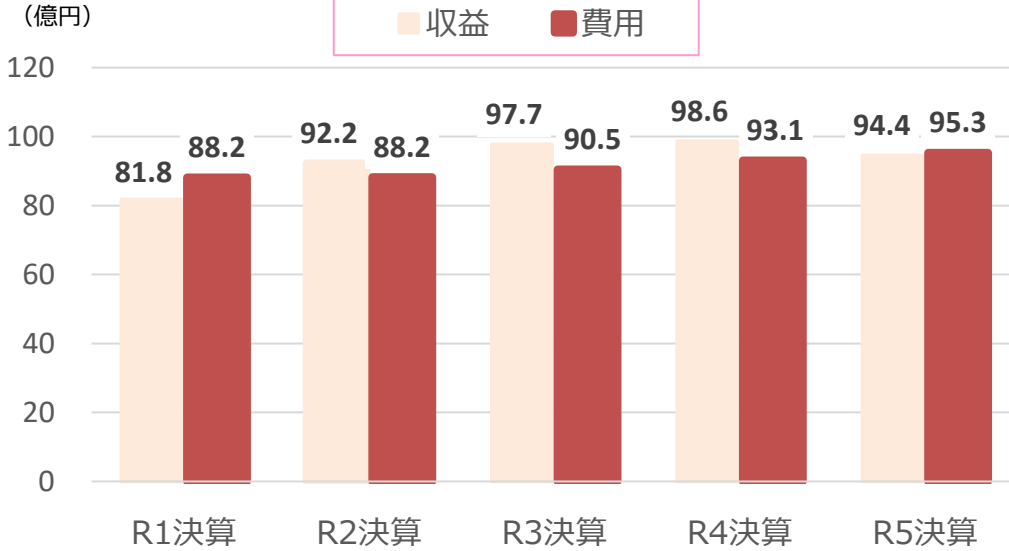
基準内
繰入の内訳
2,205百万円
【96.5%】
(R4【93.2%】)

基準外
繰入の内訳
81百万円
【3.5%】
(R4【6.8%】)



7. 病院事業収益・費用及び現金残高の推移

みんなの病院



塩江分院

